

第44回 薬用植物園公開講座と見学会 を開催しました。

当日は、212名の方がご参加されました。

第1部 公開講座

「生薬国内栽培の現状」
清水虎雄 先生

今、薬用植物の国内栽培がなぜ必要なのか、なぜ要望があるのかについて、栽培に関わる実態や課題とともに現状をお話ししてくださいました。



「樹皮を用いる薬用植物」
三宅克典 先生

雨が多い梅雨は、植物の成長時期で、樹皮採取するのに良い時期だそうです。

植物の特徴や生育場所とともに生薬としての効能などについてお話してくださいました。



第2部 植物園見学

整備された薬用植物園は、色とりどりの花が咲いて賑わいを魅せていました。



メロンの香りがするクロタネソウ



初めて体験企画を試みました。今回は、樹皮剥ぎでした。樹皮の端を手で持って簡単に剥いてしまう参加者がいれば、苦勞しながら樹皮と幹の間を小まめに竹へら動かして剥いている参加者もいました。ほとんどの方が初めての体験で、楽しんでもらえたようです。また、剥いた樹皮で「染物をしよう」とか、皮が剥かれたツルツルの幹を「オブジェにしよう」などと話が広がり、参加者同士で会話が弾み満足された様子で、三々五々帰路につかれました。

現在、池一面にスイレンが咲き誇っています。これからは、ムクゲなど夏の花が咲き始めます。



樹皮を剥かれた樹の幹



キレイに剥けた樹皮

次回(第45回 薬用植物園公開講座)は、10月15日(土)を予定しています。詳細は決まり次第、本学のホームページにてお知らせいたします。